

摂津倉庫株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年3月1日～ 2024 年2月28日)



作成日： 2024年4月30日

□ごあいさつ

昨今SDG sの取組について、より具体的な、的確な対応・対策を講じることの重要性が高まってきておりますが、当社の事業活動が環境に影響を及ぼす部分について改めて会社全体で取り組む必要があります。そこで、前年より会社方針に「DXへの取り組み推進」を掲げ、社内業務のデジタル化の視点を新たに策定いたしました。各部署におけるデータ管理の推進、不要な印刷をしない意識付け、会議資料のデータ化等、既存業務の流れではなく、将来を見据えた業務フローを策定していくことが、業務効率化につながり、さらには環境負荷の低減につながる部分も大きいと考えます。また電気代の高騰により環境対策をすることが経営資源を確保することにも繋がることを再認識し、エコアクション21の取り組みをいかに推進できるかが重要となっております。

取り組み実績を踏まえ、次年度の環境経営計画を実のあるものにする基盤とし、当社の創立当初からの想い「人や社会との調和」「環境と地域との協調」「未来の創造」を追求するために、今後も環境負荷削減に向けた取り組みを行ってまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

人類のかけがえのない財産である地球環境を次世代へ引き継ぐため、私たちは地球社会の一員として、物流事業のあらゆる面で環境に配慮し、人と自然との共生を図り、社会の継続的発展に向け行動してまいります

<環境保全への行動指針>

- ① 環境保全に関する法令を遵守します
- ② 事業活動における環境汚染物質排出量の削減に努めます
- ③ 環境教育や広報活動を通じて、環境保全の意識向上を図ります
- ④ エコドライブなど省エネルギーに努めます
- ⑤ 廃棄物の軽量化、再資源化に努めます

制定日： 2013年6月1日

改定日： 2020年4月1日

代表取締役 **浅野 弘資**

□組織の概要

更新日：2023年4月12日

- (1) 名称及び代表者名
摂津倉庫株式会社
代表取締役 浅野 弘資
- (2) 所在地
本 社 大阪府大東市南新田1-3-13
株式会社エトワス 本社 大阪府大東市南新田1-3-13
大東営業所 大阪府大東市緑が丘2-1-1
門真1営業所 大阪府門真市島頭4-20-10
深野営業所 大阪府大東市南津の辺町21-50
布市営業所 大阪府東大阪市布市町4-1-23
東大阪物流センター 大阪府東大阪市若江東町6-7-46
本社第3営業所 大阪府大東市南新田1-3-13
四条畷営業所 大阪府四條畷市荳屋新町1-1
中部物流センター 愛知県春日井市高森台5-1-3
枚方物流センター 大阪府枚方市招提大谷2-10-1
福知山営業所 京都府福知山市長田野町1-54
伊勢営業所 三重県度会郡玉城町田宮寺468-1
厚木営業所 神奈川県厚木市上落合231-5
野田営業所 千葉県野田市泉2-1-3
東京事務所 東京都港区西新橋3-10-3
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 経営統括本部 本部長 西川 浩基 TEL:072-870-7060
担当者 経営統括本部 人事総務室 原田 裕輝 TEL:072-870-7060
- (4) 事業内容
総合物流業、産業廃棄物収集運搬業(株式会社エトワス)
- (5) 事業の規模
＜摂津倉庫(株)＞ 法人設立 1964年3月24日 資本金 8,000 万円 売上高 108 億円
＜(株)エトワス＞ 法人設立 1986年6月3日 資本金 1,000万円 売上高 4億円

営業所名	従業員	延べ床面積
本社(エトワス)	47 名	1,620 m ²
大東営業所	91 名	30,360 m ²
門真第1営業所	1 名	6,400 m ²
深野営業所	6 名	2,200 m ²
布市営業所	7 名	6,800 m ²
東大阪物流センター	26 名	19,000 m ²

従業員合計	278 名
-------	-------

営業所名	従業員	延べ床面積
本社第3営業所	6 名	3,580 m ²
四条畷営業所	22 名	34,000 m ²
中部物流センター	9 名	11,060 m ²
枚方物流センター	1 名	13,860 m ²
福知山営業所	41 名	33,000 m ²
伊勢営業所	1 名	2,640 m ²
厚木営業所	8 名	39,600 m ²
野田営業所	11 名	9,200 m ²
東京事務所	1 名	150 m ²

受託した産業廃棄物の処理量		
収集運搬量	56 t	
車両台数（収集運搬車）		
車種	台数	備 考
4tトラック	12 台	
軽車両	1 台	
合計	13 台	
車両台数（社用車）		
車種	台数	備 考
乗用車	25 台	ハイブリッド車19台、EV車1台、水素車1台、ガソリン車4台
トラック	65 台	2t 15台、4t 25台、大型 25台

□認証・登録の対象組織・活動

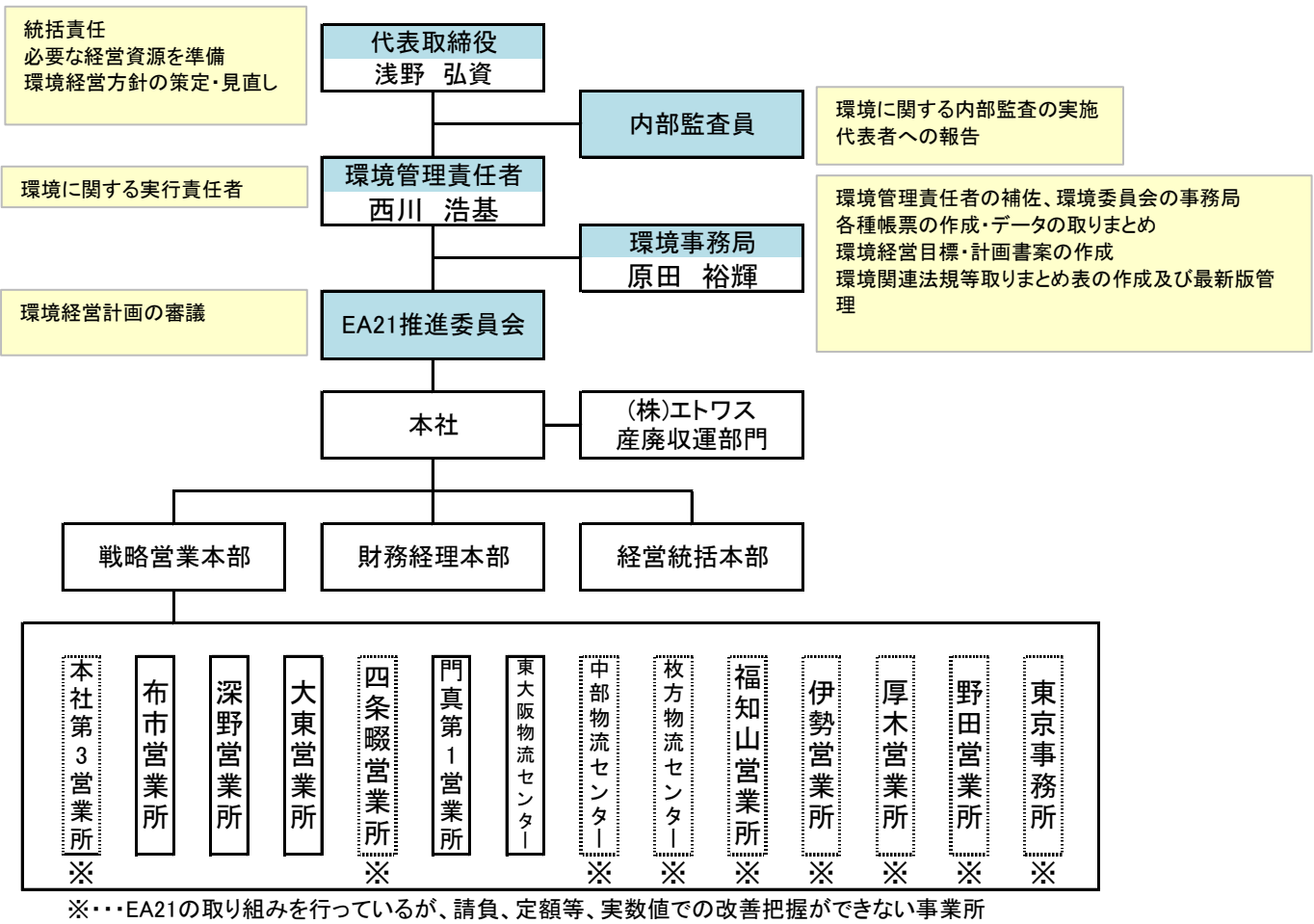
- 登録組織名： 摂津倉庫株式会社
対象事業所：
 - 本社
 - 株式会社エトワス 本社
 - 大東営業所
 - 門真第1営業所
 - 深野営業所
 - 布市営業所
 - 東大阪物流センター
- ※ 本社第3営業所
 - ※ 四条畷営業所
 - ※ 中部物流センター
 - ※ 枚方物流センター
 - ※ 福知山営業所
 - ※ 伊勢営業所
 - ※ 厚木営業所
 - ※ 野田営業所
 - ※ 東京事務所
- ※EA21の取り組みを行っているが、請負、定額等、実数値での改善把握ができない事業所(中部物流センターは2024年5月頃からコントロール対象事業所予定)
- コントロール可の :178名
実EA21活動人数
- 活動： 総合物流業、産業廃棄物収集運搬業(株式会社エトワス)

□事業の紹介

- 倉庫事業 商品保管・入出庫・配送の最適化のための倉庫提案を行い、クオリティの高いサービスを提供いたします。
- 運送事業 大切なお荷物を預かり、安心・安全輸送に努めております。ハイブリッドトラックの導入、エコドライブの実施など、環境面にしっかり配慮した輸配送を実施しております。
- サード・パーティ・ロジスティクス事業 物流事業のすべてまたは一部を引き受け、業務の合理化・効率化に取り組み、あらゆる面でサポートいたします。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2023年3月13日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
内部監査員	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

許可の内容

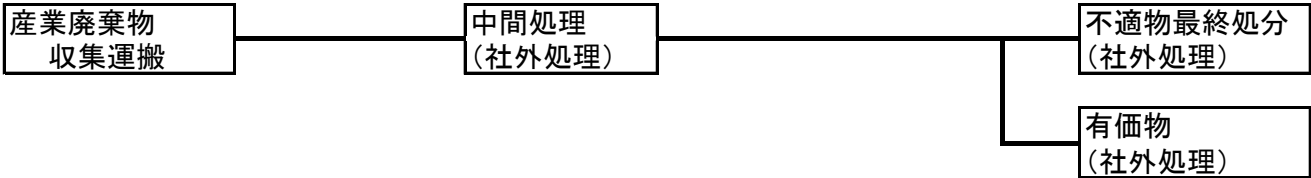
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

種類	発行者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	産業廃棄物の種類								
					廃油	廃プラスチック類	金属屑	紙くず	ガラスくず	ゴムくず	がれき類	木くず	繊維くず
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700015187号	平成31年3月9日	令和6年3月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○

処理料金

処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、(株)エトワス(電話:072-870-0101)まで

廃棄物処理フロー



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,279,603	2,245,759	2,615,466
受託収集運搬量	トン	23	21	56
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	39387.6	30,364	46,192
産業廃棄物排出量	kg	138590	161,060	62,400
水の使用量	m ³	4975	5,805	6,568
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.318	0.318	0.318

kg-CO2/kWh

※二酸化炭素総排出量は、削減活動に入っていない液化石油ガス(LPG)も含む。

環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	842,033	825,192	1,107,558	×	808,352	799,931
	基準年度比	2019年	98%	132%		96%	95%
原単位評価	kg-CO2/千円	0.082	0.080	0.106	×	0.078	0.078
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,318,913	1,292,535	1,507,556	×	1,279,346	1,266,157
	基準年度比	2019年	98%	114%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	2,160,946	2,117,727	2,615,114		2,087,697	2,066,088
一般廃棄物の削減	kg	41,884	39,790	46,192	×	38,952	37,696
	基準年度比	2019年	95%	110%		93%	90%
産業廃棄物の削減	kg	25,560	24,282	62,400	×	23,771	23,260
	基準年度比	2019年	95%	244%		93%	91%
水道水の削減	m³	5,848	5,556	6,568	×	5,380	5,263
	基準年度比	2019年	95%	112%		92%	90%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

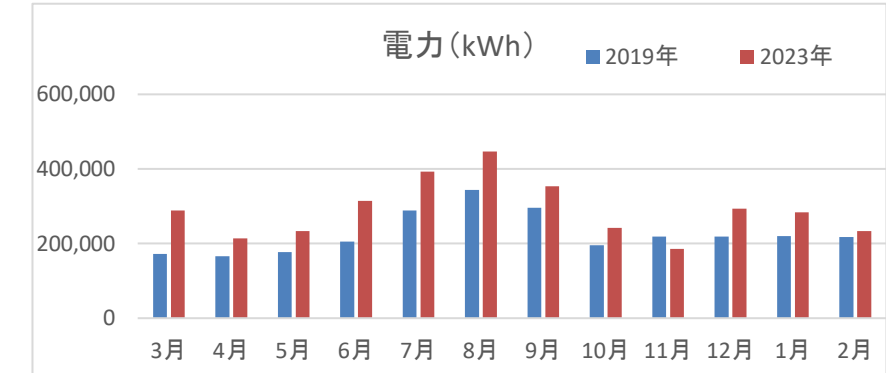
※関西電力(株)の2019年度調整後排出係数 0.318kg-CO2/kWh

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

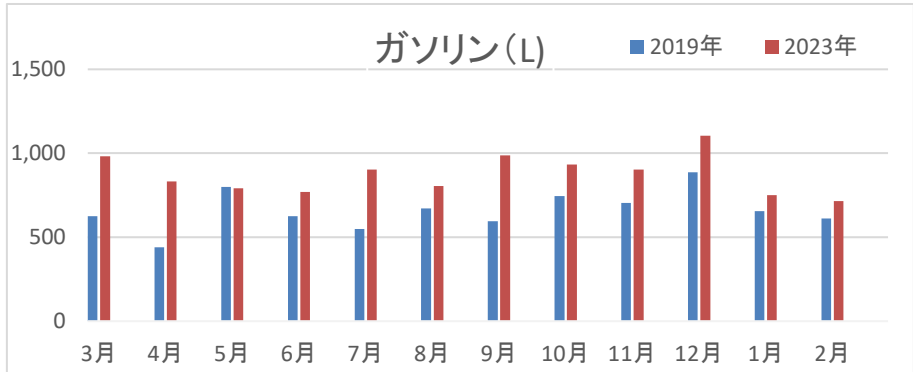
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年間を通して、暑い日、寒い日が多く、空調の使用負荷が大きかった。自社倉庫の電力使用については、作業効率を向上させ、倉庫運営時間を短縮することで電力使用時間についても短縮していく取組みを次年度から行いたい。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	

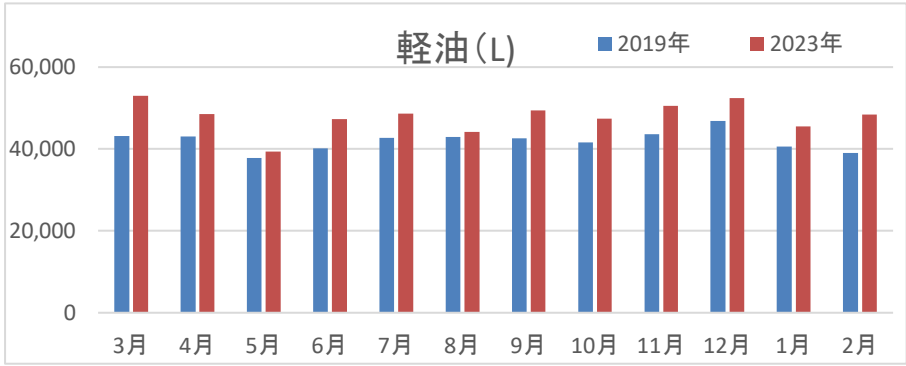


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	171,794	165,755	176,998	205,417	288,566	343,923	295,632	195,226	218,992	218,992	220,137	217,546
2023年	288,941	214,116	233,567	314,902	392,626	447,352	353,495	241,835	185,235	294,059	283,625	233,132

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	車両台数が増え、ガソリンや軽油の使用量が増加した。古い車両を廃棄し、ハイブリッド車の導入も行い、通常使用での環境負荷対策に取組む。今後も売上拡大に向けて車両の導入を進める際には、環境面からのコスト対策としてドライバー教育を継続する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	

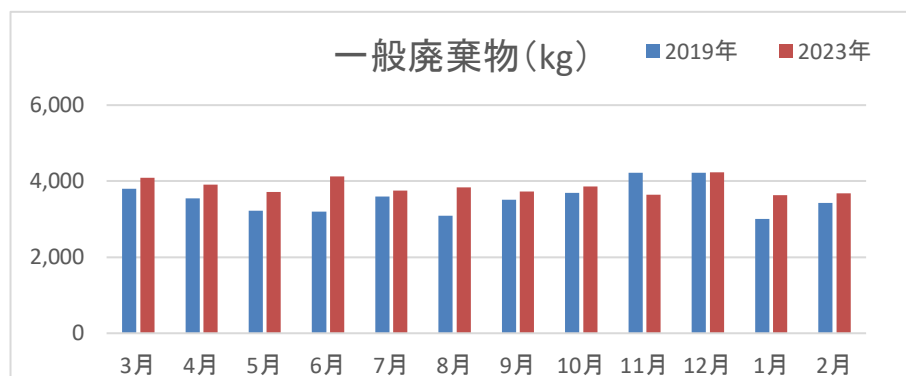


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	626	439	799	626	550	672	596	746	704	887	656	611
2023年	981	833	790	770	903	804	988	932	904	1,103	749	716



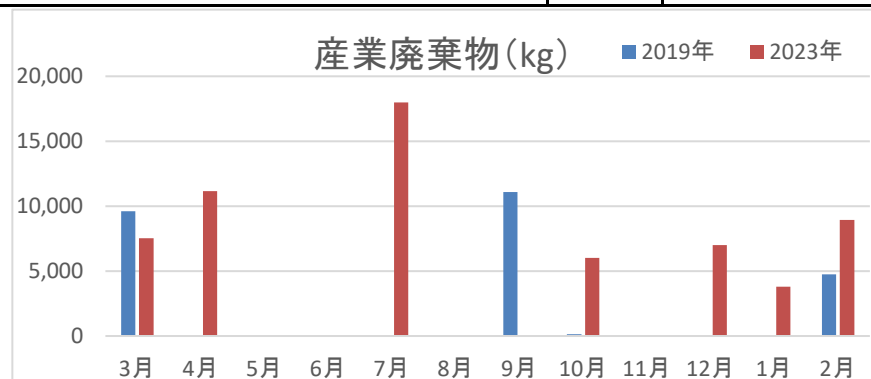
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	43,119	43,069	37,760	40,130	42,721	42,931	42,667	41,614	43,568	46,831	40,648	39,034
2023年	52,950	48,502	39,401	47,330	48,688	44,193	49,473	47,456	50,578	52,389	45,510	48,435

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	事業所の拡大をしたため、一般廃棄物の排出量についても目標達成はできていないが、今年度はペーパーレス化に力を入れて教育を行った。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	



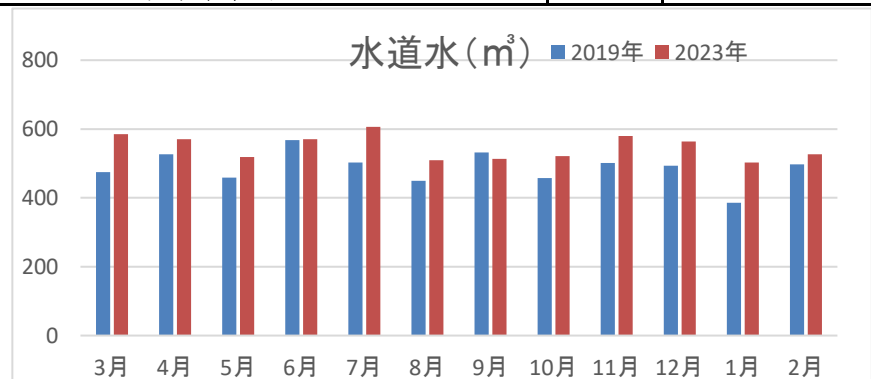
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	3,802	3,553	3,218	3,202	3,591	3,088	3,510	3,693	4,217	4,217	3,007	3,423
2023年	4,093	3,904	3,721	4,120	3,753	3,839	3,726	3,856	3,640	4,228	3,634	3,677

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年度は事業所の移転に伴う木製パレットの廃棄、備品の廃棄が多かった。木製パレットからプラスチックや樹脂パレットへの転換や、経年劣化に伴う産業廃棄物の発生も多い。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	9,600	0	0	0	0	0	11,070	130	0	0	0	4,760
2023年	7,540	11,150	0	0	17,980	0	0	6,000	0	7,000	3,800	8,930

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	事業所の拡大を行ったため、削減目標の達成までは至らなかった。各所の手洗い場も老朽化等の場合は自動水栓に切替をしているが、使用量削減の取り組みは継続して行う。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	×	
・自動水栓取り付け	○	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年	475	527	459	568	503	449	532	457	501	494	386	497
2023年	585	570	519	571	606	509	513	521	580	564	503	527

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 作業開始前の車両点検	○	特段問題はなかった。 環境負荷の少ない運転を来年度も継続して行っていく。
・ エコドライブの推進（燃料使用量は別項目で	○	
・ 積み残しの削減	○	
・ 車両の清掃	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/7/10	■実施場所 本社
■参加者： 当社従業員 テナント様従業員 全体55名	■実施内容： ・ 通報訓練、避難訓練、消火訓練、給油時の注意点
■評価： 統括防火管理者および消防士	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
①避難訓練について ・ スムーズに通報できており、避難の際も慌てずに歩いて避難できていた。有事の際は誰が連絡することになるかわからないため、最低限自社の住所と電話番号を伝えられるように各員が確認しておく。	
②給油時の注意点 1. 給油時、給油口からノズルを抜き取る際に、外にこぼさないように注意して作業する。 2. 給油の方法に関して、不慣れなドライバーについて教育を行う 3. 多量の油もれ事故が発生した場合の対応について周知する（緊急連絡先 人事総務室）	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月26日

今年度の取り組みについて、昨年に引き続き数値目標の達成状況は厳しい結果となりました。事業拡大している中で、システム利用によるペーパーレス化及び業務効率化から、環境負荷低減を行ってまいりました。今後もより効率的で、環境への取り組みから経営戦略につながる視座を持ちながら、事業展開を進めます。次年度は、今年度拡大された事業所含む数値を基準年目標として、取り組み結果に対する重要負荷の再特定が必要だと認識しております。負荷の再特定を行うことで、次年度以降の重点取組内容を選定し、必要な取り組みと不要な取り組みを選択でき、集中的に取り組みを実行に移していきます。内部監査をスタートさせたが、初めての取り組みで課題も多く内部コミュニケーションを増やし、レベルアップを図っていきたい。

社会情勢が目まぐるしく変化する中、昨今の電気料金やガソリン単価の値上げが、物流事業を行う当社へ大きく影響し、経営への負担も非常に大きいものになっております。当社の事業内容の見直しは当然ながら、改めて個人での節電、節水の取り組みにフォーカスをあて、個人から組織の取り組みに、組織から会社の取り組みになるように繋がられる、教育からの基盤づくりが大切です。環境に対する負荷が大きい事業を行っているとの位置づけを再定義し、次年度でも全社で環境負荷低減の取り組みを推進してまいります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり